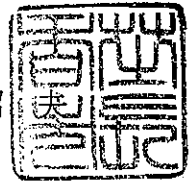




香建第 26 号
平成 19 年 4 月 27 日

国土交通省道路局長殿

香芝市長 先 山 昭



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

このことについて、平成 19 年 4 月 2 日国道企第 1 1 4 号により提出依頼がありましたので、別紙により提出いたします。

◆ 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

「日常の暮らしを支える生活幹線道路の整備」

本市は、大阪の近郊に位置するところから昭和中期より住宅開発が盛んとなり、現在では人口増加率においては全国的においても常に上位に位置し、今後も、その傾向が継続されるとみこまれる。

人口増加の当初の頃は、市としては新住民の受け入れの為の施設整備(学校、区画整理)等を優先して取り組んでいたが、現在では、取り組みの主力を都市基盤整備にシフト替えして、駅前の整備、幹線道路の整備に取り組んでいるところであります。これらは、市民意識調査による意見として「住環境の整った生活に便利な街」が各世代の上位要望である事を反映した施策ですが、その取り組みは市の発展とともに今後も必要不可欠で継続的に取り組んで行くべき課題と判断されることから、本市においては「日常の暮らしを支える生活幹線道路の整備」が最も重要であると考えます。

◆ 効率化を進める上で重視すべきこと

「道路の建設や管理にかかるコストを下げる事」

道路の建設については、用地費、施設費、補償費など多くの事業費と期間を要するというものの、本市は大都市近郊都市という立地条件から人口の流入が盛んで、生活基盤整備の必要性から、従来から道路特定財源に多くを依存して、道路建設に積極的に取り組みをして参りました。

今後も人口増加は続くと見込まれるところから、更に新路線の建設が必要である上に、築造後においてはその維持管理に要する費用も道路の利用度が高くなるにつれて増加してくることから、人口増加の著しい本市には、「道路の建設や管理にかかるコストを下げる事。」が大きな課題となります。